

修士課程

1. 履修上の注意

(1) 修了所要単位

コースにより、修了所要単位の内訳が異なります。修得単位数の合計が修了所要単位数を満たしていても、各履修区分の所要単位数を満たしていない場合には修了できませんので、下記をよく確認の上、履修登録を行ってください。

コース名	履修区分	科目群	履修上の指示	修了所要単位
社会学コース	必修科目	演習系科目群	「社会学基礎演習 1、2」を1年次に履修 「社会学基礎演習 3」を2年次に履修	6 単位以上
		論文指導	「修士論文指導 I A、I B」を1年次に履修 「修士論文指導 II A、II B」を2年次に履修	4 単位以上
	選択必修科目	理論系科目群	「理論社会学 1～5」「理論社会学基礎 1、2」より 4 単位以上履修	4 単位以上
		個別研究系科目群	「社会学特殊研究 1～6」より 4 単位以上履修	4 単位以上
	選択科目	方法系科目群 学際系科目群 社会科学研究法 外国書講読系科目群	—	—
	他コース・ 他研究科科目	メディアコース科目 他研究科科目	選択科目としてカウントする。 但し、他研究科科目は 10 単位を上限とする。	—

コース名	履修区分	科目群	履修上の指示	修了所要単位
メディアコース	必修科目	演習系科目群	「メディア社会学基礎演習 1、2」を1年次に履修 「メディア社会学基礎演習 3」を2年次に履修	6 単位以上
		論文指導	「修士論文指導 I A、I B」を1年次に履修 「修士論文指導 II A、II B」を2年次に履修	4 単位以上
	選択必修科目	理論系科目群	「メディア理論 1～5」より 4 単位以上履修	4 単位以上
		個別研究系科目群	「メディア特殊研究 1～4」または「メディア 社会学特殊研究 1～2」より 4 単位以上履修	4 単位以上
	選択科目	方法系科目群 学際系科目群 社会科学研究法 外国書講読系科目群	—	—
	他コース・ 他研究科科目	社会学コース科目 他研究科科目	選択科目としてカウントする。 但し、他研究科科目は 10 単位を上限とする。	—

(2) 留意点

● 演習系科目群

「社会学基礎演習 1～3」および「メディア社会学基礎演習 1～3」については、修士課程の学生を対象とした科目のため、特別学生（研修生を含む）は履修登録できません。聴講を希望する場合には、科担当教員の承認を得てください。

● 論文指導

2023 年度よりsemester化し、科目名が変更になりました。

2022 年度以前の入学者は、1 年次に「論文指導 1」の代わりに「修士論文指導 I A、II B」を、2 年次に「論文指導 2」の代わりに「修士論文指導 II A、II B」を履修してください。

● 学部合同科目

学部合同科目は、6単位まで修了所要単位に含めることができます。ただし、本学社会学部で「社会学史Ⅰ」の単位を修得済の場合、「理論社会学基礎1」を、「社会学史Ⅱ」の単位を修得済の場合、「理論社会学基礎2」を履修することはできません。

● 専門社会調査士資格について

社会学研究科では、「一般社団法人 社会調査協会 (<http://jasr.or.jp/>)」が認定する「専門社会調査士」資格（修士修了を条件とする資格）の取得が可能なカリキュラムを用意しています。社会学研究科修士課程の資格対応科目は、「調査研究法」「統計分析法」「質的資料分析法」の3科目が対象です。細かい履修計画の立て方などは、担当教員（田嶋淳子先生 jtajima@hosei.ac.jp）まで直接問い合わせること。

● 研究科共通科目「日本語論文作成AⅠ～AⅡ」「日本語論文作成BⅠ～BⅡ」の履修について

留学生を対象とした日本語論文作成のための研究科共通科目「日本語論文作成AⅠ～AⅡ」「日本語論文作成BⅠ～BⅡ」を開講します。研修生も履修登録できます。受講希望者は「研究科共通 日本語科目」の項を参照してください（212ページ）。

なお、研究科共通科目「日本語論文作成AⅠ～AⅡ」「日本語論文作成BⅠ～BⅡ」の単位は、修了要件に含まれません。

(3) 入学時に長期履修制度を申請された方へ

入学時に長期履修申請をされた方で、何らかの理由により履修計画を短くして修了を希望される場合は、修士論文予備登録時に「長期履修計画変更申請書」を提出してください。その書類をもとに経理課より学費差額分追加徴収の納付書が送付されますので、届き次第速やかに振込んでください。

なお、申請書提出後は再度長期履修制度に戻ることはできません。履修計画の変更についてはよく検討の上、決定するようにしてください。

2. 授業科目担当者一覧

【連続】：前年度までに履修して単位を修得した科目を今年度もう一度履修すること。

【重複】：同じ年度内に、同じ名前の科目を複数履修すること。

【他専攻】：他専攻の学生が履修可能な科目。

コース	科目区分	授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
社会学 コース科目	科目演習系	社会学基礎演習1	鈴木 智道	2				「社会学基礎演習3」と合同
		社会学基礎演習2	鈴木 智之	2				
		社会学基礎演習3	鈴木 智道	2				「社会学基礎演習1」と合同
	科目理論系	理論社会学1	徳安 彰	2	○	○	○	
		理論社会学4	岡野内 正	2	○	○	○	
		理論社会学基礎1	徳安 彰	2			○	学部「社会学史Ⅰ」と合同
		理論社会学基礎2	徳安 彰	2			○	学部「社会学史Ⅱ」と合同
	個別研究系科目群	社会学特殊研究1	田嶋 淳子	2	○	○	○	
		社会学特殊研究3	堀川 三郎	2	○	○	○	
		社会学特殊研究4	恵羅 さとみ	2	○	○	○	
		社会学特殊研究5	中村 英代	2	○	○	○	博士後期課程 「社会学研究2」と合同
		社会学特殊研究6	井上 直樹	2	○	○	○	博士後期課程 「社会学研究3」と合同

コース	科目区分	授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考	
社会学 コース科目	方法系科目群	統計分析法	胡 中 孟 徳	2			○	博士後期課程 「社会調査法2」と合同	
		調査研究法	三 井 さ よ	2			○	博士後期課程 「社会調査法1」と合同	
		質的資料分析法	堀 川 三 郎	2			○	博士後期課程 「社会調査法3」と合同	
メディア コース科目	演習系科目群	メディア社会学基礎演習1	土 橋 臣 吾	2				「メディア社会学基礎演習3」と合同	
		メディア社会学基礎演習2	小 林 直 毅	2					
		メディア社会学基礎演習3	土 橋 臣 吾	2				「メディア社会学基礎演習1」と合同	
	科目群 理論系	メディア理論1	小 林 直 毅	2	○	○	○		
		メディア理論2	藤 田 真 文	2	○	○	○		
		メディア理論3	別 府 三奈子	2	○	○	○		
	系別 科目群 個別研究	メディア特殊研究1	青 木 貞 茂	2	○	○	○		
		メディア特殊研究4	藤 代 裕 之	2	○	○	○		
		メディア社会学特殊研究1	白 田 秀 彰	2	○	○	○		
	科目群 方法系	メディア研究実習1	山 口 仁	2				○	2022年度「調査報道実習1」 を修得済みの場合は連続・ 重複履修不可
		メディア研究実習2	北 原 利 行	2				○	2022年度「調査報道実習2」 を修得済みの場合は連続・ 重複履修不可
		メディア研究実習3	高 瀬 文 人	2				○	2022年度「取材文章実習」 を修得済みの場合は連続・ 重複履修不可
コース 共通科目	科目群 学際系	学際研究2	金 井 明 人	2	○	○	○		
		学際研究3	愼 蒼 宇	2	○	○	○		
	法 研 究 科 社 会 学	社会科学研究法1	大 崎 雄 二	2	○	○	○		
		外国書講読1	鈴 木 智 之	2	○	○	○		学部「外書講読(社会学) 1A」と合同
		外国書講読2	樋 口 明 彦	2	○	○	○		学部「外書講読(社会学) 1B」と合同
		外国書講読1	土 倉 英 志	2	○	○	○		学部「外書講読(社会学) 2A」と合同
		外国書講読2	徳 安 彰	2	○	○	○		学部「外書講読(社会学) 2B」と合同
		外国書講読1	高 橋 誠 一	2	○	○	○		学部「外書講読(メディア 社会学)2A」と合同
		外国書講読2	吉 田 公 記	2	○	○	○		学部「外書講読(メディア 社会学)2B」と合同
		外国書講読1	高 橋 愛	2	○	○	○		学部「フランス語上級A1・ B1」と合同
		外国書講読2	高 橋 愛	2	○	○	○		学部「フランス語上級A4・ B4」と合同
		外国書講読1	濱 中 春	2	○	○	○		学部「ドイツ語上級A1・ B1」と合同
		外国書講読2	濱 中 春	2	○	○	○		学部「ドイツ語上級A4・ B4」と合同

コース	科目区分	授業科目	担当教員名	単位	連続	重複	他専攻	備考
コース 共通科目		外国書講読1	綿貫哲郎	2	○	○	○	学部「中国語上級A1・B1」と合同
		外国書講読2	綿貫哲郎	2	○	○	○	学部「中国語上級A4・B4」と合同
		社会学原典講読	橋爪絢子	2	○	○	○	博士後期課程「社会学原典研究1」と合同
	論文指導	修士論文指導ⅠA	社会学専攻教員	1				修士1年次に必ず履修
		修士論文指導ⅠB	社会学専攻教員	1				修士1年次に必ず履修
		修士論文指導ⅡA	社会学専攻教員	1				修士2年次に必ず履修
		修士論文指導ⅡB	社会学専攻教員	1				修士2年次に必ず履修

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2023年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Web シラバスを参照してください。

Web シラバス URL : <https://syllabus.hosei.ac.jp/>

博士後期課程

1. 履修上の注意

社会学研究科では、2016年度より、博士後期課程においてコースワーク制および授業科目の単位制を導入しました。これに伴い、2016年度以降入学者と2015年度以前入学者では修了要件が異なりますので、ご注意ください。

【2016年度以降入学者】

(1) 修了所要単位

履修区分	修了所要単位
論文指導科目	12単位以上修得
総合演習科目	6単位以上修得
選択必修科目	2単位以上修得
博士論文	
合計	20単位以上修得

※課程修了には、単位の修得のほか博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

(2) カリキュラムおよび履修上の指示

履修区分	科目名	単位	履修上の指示	修了所要単位		
論文指導科目	博士論文指導ⅠA	2	1年次に履修	12単位以上（修了所要単位に含めることができるのは12単位まで）	計20単位以上	
	博士論文指導ⅠB	2				
	博士論文指導ⅡA	2	2年次に履修			
	博士論文指導ⅡB	2				
	博士論文指導ⅢA	2	3年次に履修			
	博士論文指導ⅢB	2				
総合演習科目	社会学総合演習A	2	重複履修可	6単位以上	計20単位以上	
	社会学総合演習B	2				
選択必修科目	社会学研究1	2	重複履修可	2単位以上		計20単位以上
	社会学研究2	2				
	社会学研究3	2				
	社会調査法1	2	履修制限あり 下記(5)を参照のこと			
	社会調査法2	2				
	社会調査法3	2				
	社会学原典研究1	2	重複履修可			
社会学原典研究2	2					

(3) 論文指導科目の履修について

論文指導科目は、12単位を超えて修得した単位は修了所要単位に含めることができません。

(4) 総合演習科目の履修について

総合演習科目は、各学期末に集中演習形式で開催されます。履修希望者は、他の授業と同様、年度初めにWeb履修登録を行ってください。そのうえで、事前に設定されたメ切り日までに、演習担当教員に課題を提出することが、演習での報告の要件となります。

「社会学総合演習B」は、原則として毎年履修してください。

なお、総合演習科目の成績は、P（合格）またはF（不合格）で評価します。

(5) 選択必修科目の履修について

社会調査法 1～3 については、本大学院修士課程在籍時に以下のとおり単位を修得している場合、再度の履修はできません。

社会調査法 1：社会学専攻修士課程の「調査研究法」または公共政策学専攻・サステナビリティ学専攻修士課程の「社会調査法 6」の単位を修得済みの場合

社会調査法 2：社会学専攻修士課程の「統計分析法」の単位を修得済みの場合

社会調査法 3：社会学専攻修士課程の「質的資料分析法」または公共政策学専攻・サステナビリティ学専攻修士課程の「社会調査法 8」の単位を修得済みの場合

(6) 修士課程設置科目の履修について

修士課程設置科目は修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

(7) 専門社会調査士について（2015 年度以前入学者も同様）

社会学研究科では、「一般社団法人 社会調査協会 (<http://jasr.or.jp/>)」が認定する「専門社会調査士」資格（修士修了を条件とする資格）の取得が可能なカリキュラムを用意しています。社会学研究科博士後期課程の資格対応科目は、「社会調査 1」「社会調査 2」「社会調査 3」です。細かい履修計画の立て方などは、担当教員（田嶋淳子先生 jtajima@hosei.ac.jp）まで直接問い合わせること。

【2015 年度以前入学者】

(1) 修了要件

2016 年度以降も修了要件に変更はありません。課程修了には、3 年以上在学し、論文指導科目を 6 科目以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査ならびに最終試験に合格しなければなりません。

(2) 論文指導科目の履修について

2015 年度まで開講していた論文指導科目「社会学特殊研究 A」・「社会学特殊研究 B」は、2016 年度以降は開講しません。以下の表に従って履修してください。なお、2016 年度より単位制を導入しますが、2015 年度以前入学者については、単位数による修了要件の計算はいたしません。

例えば、1 年次に「社会学特殊研究 A・B」を修得済みの方は、2 年次に「博士論文指導Ⅱ A・Ⅱ B」、3 年次に「博士論文指導Ⅲ A・Ⅲ B」を修得することによって、論文指導科目に関する修了要件を満たします。但し、標準修業年限を超えて在学する学生は年度ごとに「博士論文指導Ⅲ A・Ⅲ B」を履修する必要があります。

学年	履修期	科目名
1 年次	春学期	博士論文指導Ⅰ A
	秋学期	博士論文指導Ⅰ B
2 年次	春学期	博士論文指導Ⅱ A
	秋学期	博士論文指導Ⅱ B
3 年次	春学期	博士論文指導Ⅲ A
	秋学期	博士論文指導Ⅲ B

(3) 総合演習科目の履修について

2016 年度以降入学者用カリキュラムにおける「総合演習科目」については、修了要件に関わらず、2015 年度以前入学者も履修することを強く推奨します。「社会学総合演習 B」は、原則として毎年履修してください。

総合演習科目は、各学期末に集中演習形式で開催されます。履修希望者は、他の授業と同様、年度初めに Web 履修登録を行ってください。そのうえで、事前に設定されたメット日まで、演習担当教員に課題を提出することが、演習での報告の要件となります。

なお、総合演習科目の成績は、P（合格）または F（不合格）で評価します。

(4) 選択必修科目の履修について

2016年度以降入学者用カリキュラムにおける「選択必修科目」については、修了要件に関わらず、2015年度以前入学者も履修することを推奨します。

ただし、社会調査法1～3については、本大学院修士課程在籍時に以下のとおり単位を修得している場合、再度の履修はできません。

社会調査法1：社会学専攻修士課程の「調査研究法」または公共政策学専攻修士課程の「社会調査法6」の単位を修得済みの場合

社会調査法2：社会学専攻修士課程の「統計分析法」の単位を修得済みの場合

社会調査法3：社会学専攻修士課程の「質的資料分析法」または公共政策学専攻修士課程の「社会調査法8」の単位を修得済みの場合

(5) 修士課程設置科目の履修について

修士課程設置科目は修了要件には含まれませんが、自由に履修することができます。他専攻が設置する修士課程設置科目についても同様です。

2. 授業科目担当者一覧

科目区分	授業科目	担当教員名	単位	備考
論文指導科目	博士論文指導ⅠA	社会学専攻教員	2	博士後期課程1年次に必ず履修
	博士論文指導ⅠB	社会学専攻教員	2	博士後期課程1年次に必ず履修
	博士論文指導ⅡA	社会学専攻教員	2	博士後期課程2年次に必ず履修
	博士論文指導ⅡB	社会学専攻教員	2	博士後期課程2年次に必ず履修
	博士論文指導ⅢA	社会学専攻教員	2	博士後期課程3年次に必ず履修
	博士論文指導ⅢB	社会学専攻教員	2	博士後期課程3年次に必ず履修
総合演習科目	社会学総合演習A	社会学専攻教員	2	
	社会学総合演習B	社会学専攻教員	2	
選択必修科目	社会学研究1	ジョージ・ハン	2	
	社会学研究2	中村英代	2	修士課程「社会学特殊研究5」と合同
	社会学研究3	井上直樹	2	修士課程「社会学特殊研究6」と合同
	社会調査法1	三井さよ	2	修士課程「調査研究法」と合同
	社会調査法2	胡中孟徳	2	修士課程「統計分析法」と合同
	社会調査法3	堀川三郎	2	修士課程「質的資料分析法」と合同
	社会学原典研究1	橋爪絢子	2	修士課程「社会学原典講読」と合同

※法政大学大学院学則の授業科目一覧表に記載のある科目で、上記一覧表に記載のない科目は、2023年度休講です。

3. 講義概要について

授業科目の講義概要および教員の主要研究業績については、Webシラバスを参照してください。

WebシラバスURL：<https://syllabus.hosei.ac.jp/>